

分野 ( 2 ) ぜん息・COPD患者の患者教育及びアドヒアランスの向上に関する調査研究

研究課題名 : ①-(ii)ぜん息・COPD患者のアドヒアランスの向上(COPD分野)

申請課題名 : COPD患者のアドヒアランス向上を目指した医療・教育・行政機関連携による  
新たな双方向支援システムの構築

調査研究代表者氏名 : 神 津 玲

### 1. 評価軸別の評価

大変優れている(5点) 優れている(4点) 普通(3点) やや劣っている(2点) 劣っている(1点)

	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(1) 研究成果目標(目的)の達成度	0人	3人	3人	0人	0人	3.5
(2) 研究計画の妥当性	0人	6人	0人	0人	0人	4.0
個別評価平均						3.8

### 2. 総合評価

(1) 評価基準に沿った評価	0人	5人	1人	0人	0人	3.8
(2) 記述評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・このシステムを他の行政区においても実施可能なマニュアルとして完成させてもらいたい。</li><li>・COPDにおけるアドヒアランスでは薬物療法と共に禁煙療法も重要であり、実態を示すこと、あるいは改善の分析の対象になる。</li><li>・診断のための基準を全体でそろえることが望まれる。</li><li>・最終年度の具体的なゴールを期待する。</li><li>・堅実に研究を進めている。受動喫煙とCOPDに関する論文はインパクトがある。身体活動量の評価ソフトを完成させて欲しい。</li><li>・双方向支援システムは将来的により重要となっていくと考えられるが、想定されるCOPD患者群のうちどの程度の割合がこのようなシステムにアクセスするかなど、いわゆるデジタルデバイドの観点にも配慮が必要と考えられる。</li></ul>					